

## 試聴会・訪問記掲載

### シマムセン試聴会報告(2016.7.23)

シマムセンで開催されたアキュフェーズのアンプの試聴会に行ってきました。アキュフェーズのプリアンプ C-2850 とフォノイコライザーユニット AD-2850 の紹介が試聴会の目的です。パワーアンプもアキュフェーズを使用し、オールアキュフェーズでのアナログの音を聴いてみようと思って参加しました。

#### <使用機材>



プレジジョンステレオプリアンプ C-2850  
フォノイコライザーユニット AD-2850



DP-720



A 級パワーアンプ A-70



AB 級パワーアンプ P-7300



当日のセッティング

#### <試聴の経過>

最初に使用機器の説明があり、まずは耳馴らしということでベートーベンの V 協とジャズの CD がかかりました。V 協の方は美音系の音で、ジャズはピアノのベーゼンドルファーがそれらしい音で聴けました。以下、説明者は設計担当とかということで C2850 の内部仕様の詳しい説明を織り込みながらの試聴となりました。

次にアナログの試聴ということで、Ortofon のカデンツア・ブルーを装着した Lux のプレーヤーで、最初にバッハの無伴奏パルティータ、ついで演歌をロック調にしたものがかかりました。無伴奏パルティータは自然で柔らかい音が、ロック演歌では伴奏のギターの細かい指さばきが見えるようでした。

ここで CD とアナログの聴き比べということで、石川さゆりの CD とマスターテープからカッティングしたというアナログを比較しましたが、切れ味の良い CD に対し、アナログは深みのある柔らかい音がしていました。

CD でドイツ歌曲を聴いた後、パワーアンプの交換ということで、女性ボーカル、ジャズ、カーターテドミノの CD を聴いた後、これまでの AB 級パワーアンプ P-7300 から A 級パワーアンプ A-70 に替え、同じ CD を聴いていきましたが、いずれも A 級の方の音が柔らかく真空管アンプを聴いているような印象を受けました。特に、カーターテドミノでは合唱のハモリ具合が A 級の方で良かったと感じました。

まとめますと、フォノイコライザーユニット AD-2850 は好感を持つことができましたし、アンプでは A 級の方が好みに合いました。CD も水準以上の音質であって、B&W の 802D3 が十分なクオリティで鳴っていたと思います。